研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	腫瘍外科・総合外科学研究	山辻 知樹

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）患者一人ひとりを中心とする全人的医療および地域のニーズに応える高度な外科診療を理解する。
（2）最新の臨床腫瘍外科学について理解し，エビデンスに基づくがん個別化医療を計画・遂行できる能力を習得する。
（3）外科学分野におけるチーム医療の重要性と意義について理解し，臨床現場において実践しうる能力を身に付ける。

授業到達目標

（1）ロボット手術を含めた最新の内視鏡外科手術・低侵襲外科手術の進歩について学ぶ。
（2）エビデンスに基づくがん薬物療法と同時に，最新の分子腫瘍学の知識を身に着け，個別化治療やその問題点についても説明できる。
（3）NST や RST 等のチーム医療に参加し，その臨床的意義を理解し，実践できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	火	7:45 - 8:45	吉田 和弘 髙岡 宗徳	（1）腹部救急領域における診断の実際 （2）最新の内視鏡外科手術手技の進歩 （3）消化管癌の診断と外科治療の進歩 （4）ロボット外科学の進歩と臨床応用 （5）肝胆膵領域における癌集学的治療の実際 （6）チーム医療を通じた安全な周術期管理
毎週	火	18:00 - 19:00	深澤 拓也 湯川 拓郎	（1）肺癌・消化器癌・乳癌・甲状腺癌オルガノイド 培養技術の個別化医療への応用 （2）遺伝子編集技術の実際とがん治療への応用 （3）肺癌の外科治療
毎週	金	12:30 - 14:00	山辻 知樹	NST(Nutrition Support Team)；臨床現場における栄養管理と多職種が関わるチーム医療の実践について学ぶ
毎週	金	19:00 - 20:00	太田 裕介	乳腺・甲状腺領域における超音波診断学の進歩と臨床応用および乳癌の集学的治療
毎週	木	15:30 - 17:30	杭ノ瀬 昌彦	（1）最新の心臓外科手術手技の進歩と低侵襲治療の実践 （2）新たな周術期心機能評価と体組成分析による術後早期回復手技の確立 （3）高齢者機能評価に基づく周術期サルコペニアの評価

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

必要に応じて個別指導を行う。

教科書

ISBN-9784260047821, 標準外科学, 田邉稔, 池田徳彦, 大木隆生編集, 医学書院, 2022
ISBN-9780393884852, Molecular biology of the cell, Bruce Alberts ... [et al.] ; with problems by John Wilson, Tim Hunt, W.W. Norton & Company, 2022
ISBN-978-4315520620, 細胞の分子生物学, Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳, ニュートンプレス, 2017
ISBN-9784524204267, 新臨床腫瘍学, 日本臨床腫瘍学会編集, 南江堂, 2024
ISBN-9781260469943, Harper's illustrated biochemistry, Peter J. Kennelly ... [et al.], McGraw-Hill Education, 2023
必要に応じて別途指示する。

参考書

必要に応じて別途指示する。

準備学習（予習・復習等）

科目責任者あるいは指導教員と授業内容について事前に十分打ち合わせ，必要であれば各臨床専門分野についての文献検索等を行っておくこと。
各授業の後には復習を行った上で履修手帳に記載すること。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

研究倫理に基づき，外科学の進歩に寄与し得る卓越した研究成果をあげ，国内外で評価され得る学会および学術誌上発表を行う。

注意事項・メッセージ

医科学としての外科学を深く探求し，研究成果を通じて医学の進歩に貢献する気概が求められる。